陶器製防災平板瓦 スーパートライ110共通\*\*(サンレイを除く) 屋根材名称 図面番号: 急勾配大棟(F2冠瓦<sup>※1</sup>乾式) 図面名称 F形-構12-急棟-2 【屋根部位】 39 8.0 大棟 (急勾配) 棟際下地詳細(縮尺:1/10) フィングの張り方 干渉する場合はハイパーアーム除去 - ハイブリッドリング釘#13×68mm 1本/桟瓦1枚 パッキン付ステンレスねじ75mm 1本/瓦1枚-スーパートライ桟瓦※2 F 2 冠瓦※1-桟切断瓦の場合はドリルにて釘穴あけ ステンレスリング釘#14×50mm(棟下地材固定用) - EPDMシーラー20×25※4 BK棟金具O(ベルト) 600mmピッチ又は910mmピッチ※5 - 防水テープ240×18m又はフリーエアーロール※4 
 核一枚瓦
 桟切断瓦

 棟金具高さ
 0
 20
棟下地材:垂木42×42(防腐処理材)又はPS樹脂瓦桟H40×W30※3 90 - ハイブリッドリング釘#13×68mm 1本/桟瓦1枚 スーパートライ桟瓦※2 ステンレスリング釘#14×50mm (BK棟金具0(ベルト)固定用) ・挿木 片足1本固定(2本) - ステンレスリング釘#14×50mm(桟木固定用)垂木ピッチ 栈木15×30以上(防腐処理材) 縦桟 (水抜き機能が桟木、ルーフィングにある場合は必要なし) ・改質アスファルトルーフィング - 野地板(構造用合板・パーティクルボード)厚み12mm - 垂木 455mmピッチ 備考:8寸勾配の大棟納まりの一例です。現場状況にあわせ、上図を参考に納めてください。 ※1 F 2 冠瓦は2.5~8寸勾配に使用できます。※2 図はスーパートライスマートを示しています。※3 図は垂木42×42 (防腐処理材)を示しています。※4 図は防水テープ240×18mを示しています。フリーエ アーロールを使用する場合はEPDMシーラー25×20は必要ありません。※5防水テープ又はフリーエアーロールを使用する場合は、600mmピッチを推奨します。※6棟際の桟木は棟芯から30mm控えてください。 作成年月日: 2022年 2月 1日 株式会社 縮尺:1/5 第2版 鶴